

its chalazal haustorium in Cucurbitaceae. Agra Univ. J. Res. (Sci.) 6: 75-89.
 — 1961. Development of embryo in the Cucurbitaceae. J. Indian Bot. Soc. 40: 620-623.
 — 1964. A further contribution to the endosperm of the Cucurbitaceae. Proc. Indian Acad. Sci. B. 60: 399-413. Singh, D. & A. S. R. Dathan 1972. Development of generative and aposporic embryo sac in *Cucumis metuliferus* E. Mey. ex Schrad. Curr. Sci. 41: 33-35. — 1974a. Structure and development of the seed coat in Cucurbitaceae V. Seeds of *Melothria* Linn. Bull. Bot. Soc. Bengal. 28: 47-56. — 1974b. Structure and development of seed coat in Cucurbitaceae IX. Seeds of *Coralllocarpus*, *Kedrostis* and *Ibervillea*. Bull. Torrey Bot. Club. 101: 78-82.

* * * *

ウリ科スズメウリ連には31属知られているが、この群の胚発生の研究はほとんど雌性配偶体・内乳・種皮に限られていた。そこで著者は本群の一種 *Coralllocarpus epigaeus* の小孢子嚢・小孢子発生・雄性配偶体、子房・胚珠・大孢子発生・雌性配偶体、受精・内乳、胚形成、種皮について、詳しい研究を行った。

□Gupta, A. & R. Udar: **Palyno-taxonomy of selected Indian liverworts** 202 pp. 1986. J. Cramer, Stuttgart. 蘚苔類の孢子形態については近年各国で研究が進められているが、本書はインド産の50種の苔類についての観察を取りまとめたもの。各種について孢子形態のくわしい記載と説明、顕微鏡写真とその解説図がある。孢子の型の分類、孢子表面の模様の分類等が述べられている。顕微鏡写真はすべて光学顕微鏡によるものである。(井上 浩)

□Oliver-Bever, Bep: **Medicinal plants in tropical West Africa** 375pp. 1986. Cambridge University Press, Cambridge. ¥16,800. 熱帯西アフリカ産の生理活性のある植物が心臓血管系、神経系、抗感染作用、副腎皮質ホルモン、性・甲状腺ホルモン、低血糖作用に分けて効能別に記述されている。どの種についてもL, C, Pの見出しの下に、土俗的用例、成分、薬学的知見がのべられている。最近日本の経済活動の拡大とともに、なじみのうすいアフリカの植物についての質問、それも貿易業務上の質問がふえているので、こういう本を備えることにした。参考文献が86頁にもわたっているが、大部分は薬学的文献である。植物名索引は20頁にわたるが学名索引で、common nameの見出しはあるが、英語名ばかりで現地名がほとんどないのは少々もの足りない。

(金井弘夫)